（別記）

令和８年度多賀町農業再生協議会水田収益力強化ビジョン

１　地域の作物作付の現状、地域が抱える課題

本町は中山間地に位置しており、水田農業を営む上で、その位置条件を活かした水稲を主体とする農業生産を展開してきたが、近年では、麦・そば・大豆の生産やパイプハウスによる施設野菜の生産も取り入れ、特にそば・ニンジン・ブロッコリー・シャインマスカットについては、地域の特産物として振興を図っている。

「令和の米騒動」により米価は上昇しているが、依然、今後の動向は不透明であるため、戦略作物や高収益作物等への作付転換に取り組む必要がある。

しかし、現在の経営基盤は、農業従事者の高齢化や担い手の後継者不足により弱体化の傾向にあり、農事組合法人や認定農業者を中心とした担い手の農業後継者の育成および集落間連携の推進が喫緊の課題である。

さらに、獣害や圃場条件等の問題から、不作付地が増加する等、水田の有効活用が図られていない状況となっている。

２　高収益作物の導入や転換作物等の付加価値の向上等による収益力強化に向けた産地としての取組方針・目標

既に特産物として導入している高収益作物については、生産性および品質の向上によってブランド力を強化し、販売額の向上を目指すとともに、消費者ニーズに対応した作物の導入、作付拡大を推進し、経営の安定化を図る。

また、新規特産物として消費者嗜好に対応した果樹（種無しブドウ：シャインマスカット）の生産を振興し、収益力の向上を図る。

３　畑地化を含めた水田の有効利用に向けた産地としての取組方針・目標

本町の水田については、水稲・麦・そば（大豆）による２年３作を基本とする作付体系を推進しており、農事組合法人や認定農業者等の担い手を中心とした地域ぐるみで取り組むブロックローテーションが定着しつつあり、これらの土地利用型作物を中心とした水田農業が主体となっている地域においては、畑地化の推進は行わない。

しかし、水田農業を組み入れない作付体系が数年以上定着し、畑作物のみの生産を継続している水田については、畑地化の取り組みを検討する。

畑地化の取り組みにあたっては、現地確認や意向確認を通じて水田としての活用見込みを点検確認し、今後も水田としての活用が見込まれないことが明らかな場合は、集落営農組織や農業委員会等との調整を経て、所有者や生産者の意向、地域実情を鑑みたうえで、畑地化支援を活用した畑地化について検討する。

４　作物ごとの取組方針等

（１）主食用米

本町の基幹作物として米価の安定を図るため、需要に応じた生産を行う。

また、環境こだわり米の取り組みの推進を図り、消費者に求められる安全・安心で高品質な米の生産を行う。

（２）備蓄米
令和８年度の取り組み予定はないが、今後の推進について協議をおこなう。

（３）非主食用米

ア　飼料用米
令和８年度の取り組み予定はないが、今後の推進について協議をおこなう。

イ　米粉用米
令和８年度の取り組み予定はないが、今後の推進について協議をおこなう。

ウ　新市場開拓用米
令和６年度、令和７年度において取組実績がなく、令和８年度も取組予定はないが、今後の推進について協議を進める。

エ　WCS 用稲
令和６年度、令和７年度において取組実績がなく、令和８年度も取組予定はないが、今後の推進について協議を進める。

オ　加工用米
主食用米の需要が不透明な情勢の中、需要に応じた生産を行う。

（４）麦、大豆、飼料作物
麦・大豆の作付圃場の団地化およびブロックローテーションを計画的に継続・実行し、生産技術の向上に努め、営農指導に柔軟に対応し、品質の向上および収量の安定を促進する。

（５）そば、なたね
近畿でも有数の生産地である本町の「そば」を今後も特産物として位置づけ、生産技術の向上、肥培管理の徹底に努め、本町の「そば」の流通量・流通エリアの拡大を図る。

（６）地力増進作物
農業生産の基盤である土壌の生産力向上を図り、持続可能な農業を進める。

（７）高収益作物
ニンジンおよびブロッコリーを本町の特産物と位置付け、生産管理の徹底に努め、品質の向上および収量の安定を促進し、併せて生産の拡大を図る。

５　作物ごとの作付予定面積等　～　８　産地交付金の活用方法の明細

別紙のとおり

別紙

５ 作物ごとの作付予定面積等

（単位:ha）

作物等	前年度作付面積等		当年度の作付予定面積等		令和８年度の作付目標面積等	
		うち二毛作		うち二毛作		うち二毛作
主食用米	241.7	0	245	0	230.7	0
備蓄米	0	0	0	0	0	0
飼料用米	0	0	0	0	1	0
米粉用米	0	0	0	0	0.3	0
新市場開拓用米	0	0	0	0	0	0
WCS用稲	0	0	0	0	0	0
加工用米	2.3	0	2	0	10	0
麦	96.3	4.3	87.2	0	101.2	0
大豆	21.2	21.2	22	22	27.4	25.9
飼料作物	0	0	0	0	0	0
・子実用とうもろこし	0	0	0	0	0	0
そば	76.1	64	80	68	80	69.5
なたね	0	0	0	0	0	0
地力増進作物	2	2	5	3	0	0
高収益作物	10.7	2.4	11	2.7	16.1	3.2
・野菜	8.7	2.2	9	2.5	13.5	3.2
・花き・花木	0.7	0.2	0.7	0.2	1	0
・果樹	1.3	0	1.3	0	1.6	0
・その他の高収益作物	0	0	0	0	0	0
その他						
・						
畑地化	0	0	0	0	0	0

６ 課題解決に向けた取組及び目標

整理番号	対象作物	使途名	目標	前年度（実績）	目標値
1	そば（基幹作物）	環境こだわりそば助成（基幹作物）	作付面積の拡大	（R7年度） 12.1	（R8年度） 10.5
2	そば（二毛作）	環境こだわりそば助成（二毛作）	作付面積の拡大	（R7年度） 64	（R8年度） 69.5
3	ニンジン・ブロッコリー（基幹作物）	ニンジン・ブロッコリー助成（基幹作物）	作付面積の拡大	（R7年度） 0.4	（R8年度） 1.2
4	ニンジン・ブロッコリー（二毛作）	ニンジン・ブロッコリー助成（二毛作）	作付面積の拡大	（R7年度） 2	（R8年度） 3.2
5	野菜（作物一覧）に記載のある作物	野菜助成（基幹作物）	作付面積の拡大	（R7年度） 1.8	（R8年度） 2.6
6	麦（基幹作物）	担い手麦助成（基幹作物）	ブロックローテーションの維持(団地化)	（R7年度） 92	（R8年度） 101.2
7	大豆（麦跡二毛作）	担い手大豆助成（二毛作）	ブロックローテーションの維持(団地化)	（R7年度） 21.2	（R8年度） 25.9
8	シャインマスカット（基幹作）	シャインマスカット助成（基幹作）	作付面積の拡大	（R7年度） 0.08	（R8年度） 0.90ha

※　必要に応じて、面積に加え、取組によって得られるコスト低減効果等についても目標設定してください。
※　目標期間は３年以内としてください。

7　産地交付金の活用方法の概要

都道府県名：

協議会名：多賀町農業再生協議会

整理番号	使途 ※1	作期等 ※2	単価 （円/10a）	対象作物 ※3	取組要件等 ※4
1	環境こだわりそば助成（基幹作物）	1	2,000	そば	滋賀県環境こだわり農産物の認証取得、農地の高度利用（明渠等）
2	環境こだわりそば助成（二毛作）	2	2,000	そば	滋賀県環境こだわり農産物の認証取得、農地の高度利用（明渠等）
3	ニンジン・ブロッコリー助成（基幹作物）	1	28,000	ニンジン・ブロッコリー	作付面積に応じて支援
4	ニンジン・ブロッコリー助成（二毛作）	2	28,000	ニンジン・ブロッコリー	作付面積に応じて支援
5	野菜助成（基幹作物）	1	15,000	野菜（作物一覧）に記載のある作物	作付面積に応じて支援
6	担い手麦助成（基幹作物）	1	1,000	麦（基幹作物）	農地の高度利用（明渠、暗渠、高畔栽培、心土破砕、土づくり等）
7	担い手大豆助成（二毛作）	2	2,000	大豆（麦跡二毛作）	農地の高度利用（明渠、暗渠、高畔栽培、心土破砕、土づくり等）、集落内の話し合いに参加し、耕作地を決定していること。
8	シャインマスカット助成（基幹作）	1	43,000	シャインマスカット（基幹作）	作付面積に応じて支援

※1　二毛作及び耕畜連携を対象とする使途は、他の設定と分けて記入し、二毛作の場合は使途の名称に「〇〇〇（二毛作）」、耕畜連携の場合は使途の名称に「〇〇〇（耕畜連携）」と記入してください。
　　ただし、二毛作及び耕畜連携の支援の範囲は任意に設定することができるものとします。
　　なお、耕畜連携で二毛作も対象とする場合は、他の設定と分けて記入し、使途の名称に「〇〇〇（耕畜連携・二毛作）」と記入してください。
※2　「作期等」は、基幹作を対象とする使途は「1」、二毛作を対象とする使途は「2」、耕畜連携で基幹作を対象とする使途は「3」、耕畜連携で二毛作を対象とする使途は「4」と記入してください。
※3　産地交付金の活用方法の明細（個票）の対象作物を記載して下さい。対象作物が複数ある場合には別紙を付すことも可能です。
※4　産地交付金の活用方法の明細（個票）の具体的要件のうち取組要件等を記載してください。取組要件が複数ある場合には、代表的な取組のみの記載でも構いません。

別表　野菜助成 作物一覧（町設定）

あおとう	ちんげん菜
アスパラガス	とうがらし
いちご	とうもろこし
ウド	トマト
うり類	なす
エシャロット	ニラ
えだまめ	ニンジン
エンドウ豆	にんにく
オクラ	ねぎ
かぶ	はくさい
かぼちゃ	パセリ
カリフラワー	ピーマン
きくいも	ふき
キヌサヤ	ブロッコリー
きのこ類	ほうれんそう
キャベツ	マコモダケ
きゅうり	みずな
くわい	みつば
ごぼう	ミニトマト
こまつな	みぶ菜
ササゲ	みょうが
さつまいも	メロン
さといも	モロヘイヤ
サニーレタス	ヤーコン
サラダ菜	やまいも
ししとう	らっきょう
しそ	ラディッシュ
じゃがいも	レタス
しゅんぎく	れんこん
しょうが	わけぎ
すいか	下田なす
すぐき	花菜
ズッキーニ	菜の花
セリ	食用菊
セルリー	杉谷なす
セレベス	青さやいんげん
そば菜	青菜
そらまめ	漬け菜
だいこん	日野菜
たまねぎ	北之庄菜